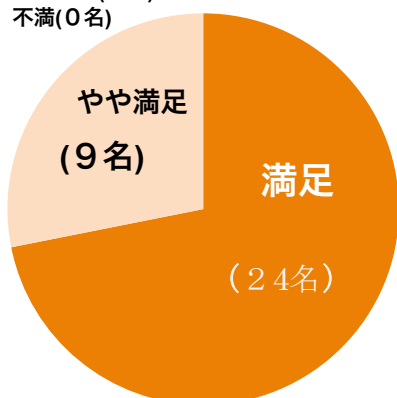


UBOM技術研修会・福島

アンケート結果

◇ 講義時間・ソフトウェアの使用方法 ◇

どちらともいえない(0名)
やや不満(0名)
不満(0名)



講義時間の満足度

講義の満足度に関しては、好評価が多いと思われます。コメントでも、「後藤先生の説明はとても丁寧でわかりやすかったです。」といった評価を多くいただきました。

○以前の研修会よりもわかりやすく、バウムテストの画型の判断方法など詳しく勉強することができてよかった。

○精神生理の計量的な視点を併せ持つ必要があるということはとても納得したが、UBOMがその指標となるのか疑問に思うことがあったのでもう少し詳しい説明があってもよかったと思う。

一方、ソフトウェアの用法は、分散が大きい傾向にあります。融通性のあるPCの環境整備が課題だと思われます。

○動作環境が指定されているので、今後はもっと新しいバージョンでも使用できるようなソフトがあれば助かります。

○ソフトウェアを实际使ってみたい。

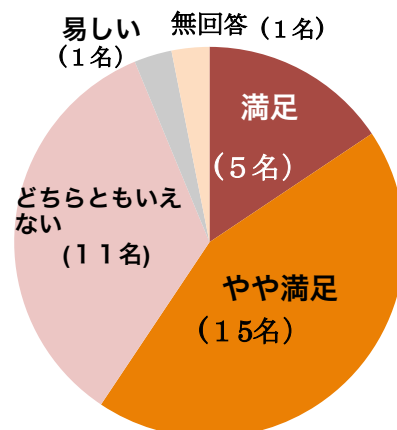
○UBOMのきっかけ、理由付けが理解でき、使用方法もわかりやすかった。症状でなく程度の尺度を見るという点で精神科の科学的根拠の部分として納得できた。

○パソコン職場で使うとなると新たにインストールしたり、専用のPCが必要になる。

○ソフトウェアのバージョンアップを強く望む。

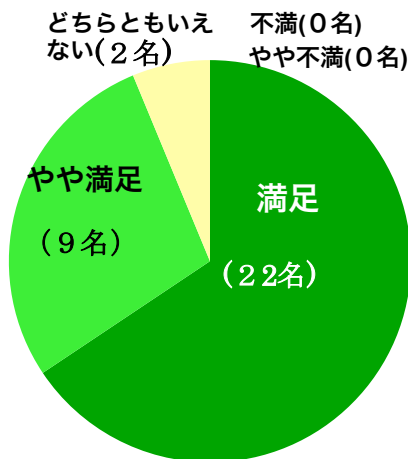
○Dr.にもっと広がることを希望する。

○实际やってから、ソフトウェアの説明の方がわかりやすのではないかな？



ソフトウェアの使用方法

◇ 実技講習・マニュアルの満足度 ◇



実技講習の満足度

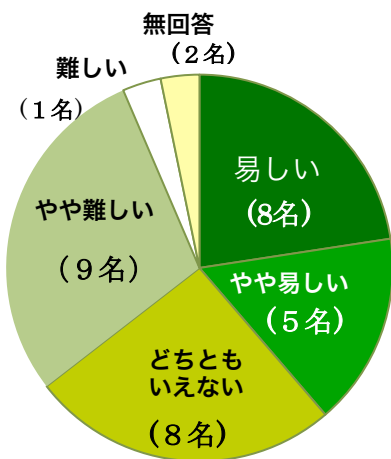
実技講習の満足度に関しては、分散が少ない傾向があります。「実技の時間が多くあり確認しやすかったのでよかった。」という好評のコメントをいただきました。

○先生方より直接ご指導いただいて理解しやすかった。現場でも使ってみたい。

○実技講習は楽しかった。

○臨床現場で使える日が来るよう職場で普及していければ思っていた。チーム医療に結び付けていきたい。

一方、実際の測定は難しいという率直な感想を多くいただきました。

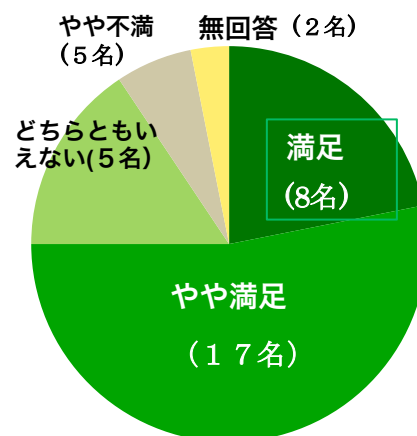


マニュアルの満足度

○検者が何度もスタッフ同士の練習が必要だと思いました。また、実際の治療上でも比較の報告をしたり、他の指標と共に活用できると思いました。

○測定での細かな脳機能の関係、共有の仕方など非常に勉強になった。

○Nsが臨床の場でなかなか実施できないように思えた。



報告内容の満足度

◇ 臨床の実際における報告内容の満足度 ◇

報告内容における満足度に関してはばらつきがみられます。好評のコメントとしては、「今後の実践、研究上のヒントが得られた。」や「大変勉強になった。」という内容がありました。

一方、「難しかった。勉強不足を痛感する。」「もっと理解を深められるよう継続して学習していきたい。」というように、初めて参加された方にとっては、なかなか難しい内容に感じら

れたようです。以下、コメントです。

- 論文や学会等で引用できるようにデータの論文化などをお願いしたい。
- まだ活用事例が少ないため報告内容については何も言えませんでした。
- リハビリの場面でどのように活用していけばいいか教えてほしかった。
- UBOMの結果を実際、患者さんにどのようにフィードバックし、治療を行いどんな結果が得られたか知りたい。

◇ 技術研修会全体について ◇

本研修会を知ったきっかけは、UBOM研究会ホームページが1名、SST講習会が17名、その他、職場の同僚の方からの誘いや病院内のパンフレット、OTジャーナルで興味を持ったというお答えをいただきました。

全体の感想でのコメントは、以下の通りです。

- とても理解できた。臨床でも活用したい。
- 今後も成果発表を通して本会で学びたい。
- 楽しく学ぶことができ、UBOMの有用性について理解できた。職場に戻り、UBOMを導入したい。
- 症例検討会があるとさらに楽しい会になるかもしれない。
- とても実のある研修会でした。研究会に入会し、さらに自分でできることを積み重ね努力したい。
- 栃木でも催してほしい。

今後の研究会の運営や、講習会の実施方法にとっても有用なご意見をいただき、ありがとうございました。皆様から頂いたご意見を基に、より良い講習会にしていけるよう努力したいと存じます。今後ともよろしく願いいたします。

UBOM研究会事務局